

令和7年度 第3回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和7年11月28日（金）16時30分～17時05分

場 所：オンライン会議

出席者：

所属	職名	氏名	備考
埼玉県	企画財政部 行政・デジタル改革局長	高窪 剛輔	議長
	産業労働部 産業政策局長	神野 真邦	
	企画財政部 北部拠点政策幹	山川 直也	
	産業労働部 産業拠点整備推進幹	北島 義丈	
熊谷市	総合政策部長	増田 和昭	副議長
	総務部 庶務課長	横森 聡夫	
	産業振興部長	長谷川 秀明	代理
	都市整備部長	高荷 博	
	建設部長	新井 賢一	
	総合政策部 北部拠点整備推進室長	持田 保彦	

1 会議の目的

- ・ 本日の会議は、北部地域振興交流拠点A棟モデルプランの検討のほか、県市の検討状況等について情報共有を行うものである。

2 県及び熊谷市の主な説明

（1）北部地域振興交流拠点A棟モデルプランについて

（埼玉県）

- ・ 北部地域振興交流拠点A棟について、県と市の間で検討・調整を行い、モデルプランを作成した。当該モデルプランの位置づけは、導入予定の機能を想定する規模・配置において実現可能であることの確認や事業費の概算を行うためのものであり、施設配置を決定するものではない。
- ・ モデルプランは前回会議で提示したフロアイメージに基づいて作成している。なお、県施設に係る面積の精査に伴い、フロアイメージに一部変更が生じている。
- ・ 新県立図書館の書庫は吹き抜け空間の一部を利用し、M2階として配置している。
- ・ また、市との調整を踏まえ、立体駐車場から施設へのアクセスは2か所とする方向で検討を進めていきたい。

（熊谷市）

- ・ モデルプランについては、2階・3階に市役所窓口機能を配置することを想定し、エスカレーターの配置など来庁者の利便性に配慮したものとなっている。
- ・ 市役所フロア内の機能配置については検討を行っており、11階に配置予定の市議会機能の設えとあわせて市の基本計画において示す予定である。

（２）北部地域振興交流拠点の検討状況について

（埼玉県）

- ・ 北部地域振興交流拠点全般に関わることとして、事業者へのサウンディング調査を踏まえた整備手法、施設の木造・木質化について検討を行った。また、A棟に整備する産業振興施設の機能について具体化を図るとともに、B棟のモデルプラン等について検討を進めた。B棟については、DXの進展を想定し、ABW型オフィスとして機能ごとのレイアウトとするほか、市役所を含めたA棟における機能との連携も検討していきたい。引き続き、熊谷市とも協議を重ね、県民コメントも実施した上で、基本計画を策定したい。
- ・ 先般、熊谷市議会議長から熊谷市長あてに依頼のあった「新庁舎におけるフロアイメージに関する意見について」は、市から県に共有があった。
- ・ この意見にある新県立図書館の位置については、A棟の1階に図書館の窓口・閲覧機能をフロアの1割弱のコンパクトなスペースに配置するとともに、講座や講演を行うことで「地域の活力向上機能」に資するものとしたい。また、1階のコンベンションホールが階高となることから生じるスペース（M2階）に書庫機能を配置したいと考えている。
- ・ 総合窓口については、施設案内機能としての設置は必要と考えており北部地域振興交流拠点の基本理念である「DXの進展を前提とした未来の公共施設の先進モデル」に相応しい機能を市とともに検討したい。
- ・ 立体駐車場の方式については、意見にあるとおり誰もが安心して利用できることを前提としたうえで、必要台数など総合的に考慮しながらフラット式が最適であるかを決定するべきと考える。また、立体駐車場と施設の接続については、各フロアでの接続はコストなど難しい面が多いものの、A棟モデルプランにおいて2フロアでの接続としており意見を一定程度反映できたと認識している。

（熊谷市）

- ・ 前回の連絡調整会議以降、新庁舎建設検討委員会や市議会全員協議会においてフロアイメージなど検討状況を報告したほか、市民や市職員を対象としたワークショップを行った。基本計画策定に向けてさらに検討を進め、パブリックコメントも実施する予定である。
- ・ 前述の「新庁舎におけるフロアイメージに関する意見について」のうち、「1階に総合窓口」という点については、フロントヤードとバックヤードが別フロアになると事務効率上の課題があることから、窓口としてではなく建物の総合案内

として検討していく。

- ・ また、立体駐車場の方式については、上りと下りを分けたフラット式にした場合、附置義務上の駐車台数を満たすには駐車場の規模が大きくなり周辺環境への影響も大きいことから、フラット式よりも駐車効率が高く、駐車台数を確保しながら規模の縮小が可能なスキップ式が適当ではないかと考えており、引き続き県と検討を行いたい。
- ・ 立体駐車場と施設の接続については、技術的には可能であるものの、コスト面など課題が多いことから各フロアではなく2フロアでの接続を考えている。

3 本会議における確認事項

- ・ 本会議で共有した北部地域振興交流拠点A棟モデルプランを前提に、今後の検討を行う。
- ・ 熊谷市議会から依頼のあった「新庁舎におけるフロアイメージに関する意見について」に対しては、本会議における意見を踏まえ、熊谷市から市議会に回答する。